

新居浜支部

1 教職員研修について

新居浜市では、今年度コンピュータが教職員一人に一台ずつ配布された。また、パソコン教室のコンピュータも整備され、新しい機種やソフトが導入された。すべての学校において、新しいコンピュータについての説明会が開かれる予定ではあったが、各校の情報教育主任が新しいコンピュータの操作方法を事前知っておくことにより、よりスムーズに研修が進むと考え、下記の要領で研修を行った。

2 情報教育夏季実技研修会

- (1) 日 時 平成22年 7月26日 (月) 10:00~16:30
- (2) 場 所 新居浜市立宮西小学校
新居浜市立北中学校
- (3) 参加人数 30名
- (4) 研修内容

研修1 教員一人に一台配備されるコンピュータの操作方法について。

① USBキー（認証キー）について

- ・ パソコンの起動方法
- ・ パスワードの変更方法
- ・ モバイルモードによる起動方法及び運用

② 教育委員会内に設置されたサーバー内のフォルダ構成について

研修2 パソコン教室に整備されるコンピュータの操作方法について

① スカイメニューについて（小・中学校）

② 一太郎スマイルについて（小学校）

キューブについて（中学校）

③ 教材パックについて（小学校）

3 成果と課題

- ・ 各校で情報教育推進の中心となる先生方に集まっていたいただき研修できたことにより、新しく導入されたコンピュータの操作方法や運用していく上での注意点等の意識統一ができた。また、質問が多数出されたことにより、参加者の理解がより深まった。
- ・ 今まで使い慣れたソフト（一太郎等）が導入されていないので、新しいソフトの操作方法に慣れていく必要がある。
- ・ USBキーの管理方法を厳格化する。
(各校では金庫等への保管、また原則として外部へは持ち出さない、持ち出さなければならないときには校長の許可を得る等)
- ・ 各校においてセキュリティポリシーについてのガイドラインを作成し、情報が外部へ流出したり、コンピュータを不正に私用に使われたりすることがないように細心の注意を払わなければならない。
- ・ 児童生徒のコンピュータ活用能力が高まるよう、パソコン教室の積極的な活用を進めていく。また、それとともに、情報モラルについての学習も推し進め、児童生徒がネット上のトラブルに巻き込まれない力を育てていくことが大切である。
- ・ 一人一台整備されたことによる恩恵が得られるよう、コンピュータを今まで以上に活用し、学校内でのデータの蓄積や活用、また学校間でのデータの共有化を図るなど、今まで以上に各教職員の仕事の効率化が促進されていくことが大切である。